

(別紙様式)

令和7年度学校評価の実施状況等調査

学校名	県立八重山商工高等学校
記載者名	教頭 神村智子

1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	1	1	1	42	2	7	54

※その他 (舎監、用務、司書、PTA、非常勤、業務支援員)

2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	5	0	0				5

※その他 ()

3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	107	336	0				443

※その他 ()

4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他()
学校関係者評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他()

5 令和6年度の学校評価を踏まえ、令和7年度改善した点 (いじめ問題に関すること等)

①昨年度よりスクリレを積極的に活用し、保護者・地域との連携を行った。
②生徒会やHRリーダーを中心に学校行事や生徒自治に取り組んだ。
③AI支援員による定期的な研修で授業改善や校務効率化に取り組んだ。
④教育相談体制の充実により、いじめの未然防止・早期発見に取り組んだ。
⑤管理者も動向した中学校訪問説明会やこまめなインスタ更新で魅力をアピールした。

6 令和7年度の学校評価で明らかになった課題

①生徒の主体性を尊重した学校運営。
②ICTを活用した授業改善。
③キャリア教育と進路指導体制の充実。
④PTA活動と学校との連携の更なる充実。
⑤職員のゆとりある時間を確保し、専門性を発揮する自己研鑽を奨励する。

7 令和7年度の学校評価を活かした令和8年度の改善点

①教育相談、特別支援コーディネーター、支援員による教育相談、学習支援体制の充実。
②生徒の実態に応じた補習・補充、単元テストの効果的な実施。
③AI研修や講師招聘の職員研修等、他機関と連携した研修の充実。
④デジタル連絡ツール(スクリレ)の積極的な利用で保護者・地域との連携と広報の充実。
⑤Teamsの効果的な活用、支援員の配置、各分掌、学年団の更なる連携。